



旅の思い出〜チターの音色〜

コロナ禍で家で過ごす時間が長いなか、買頭から離れない。豚ペい求めて良かったのがスト? 恐い伝染病のよCDプレーヤー。

旅先で買ったCDを なつてしまふ。

何年かぶりに妻がかけ 父ギヤグ」というが、 楽しかった時が思い出 される。

ハンガリーの首都、ブ ンダペストを流れるドナ ウ川に架かる橋のたも とでは、チター奏者本 人がCDを売っている。

ドナウ川を挟んだブ ンダペストの2つの町 の名前を合わせて「ブ ンダペスト」と呼ばれる ようになったという。



チターを奏でるユーリ氏

琴といったところだ。

日本の琴よりも随分 短くて軽く、手軽に持

ち運べる大きさだ。少

人数でのキリスト教の

礼拝時の伴奏楽器とし

てもチターは使われて

きた。また、欧米では

音楽で心のケアをする

音楽療法にもチターの

演奏が用いられている

そうだ。

ブダペストでCDを

売っていた、チター奏

者のユーリ・クレーニャ

氏。日本で演奏や録音

したところもあるそう

だ。CDは

2種類。日

本でも人気

のある「モ

ルダウ」や

旅の買い物の鉄則

「二週間分の売上よ

り多かったですよ」

貝から細工3セット

と夕陽のサンセットを

一緒にする。いかにも

今の日本人らしい。

「第3の男」などが収

録されている。

生演奏ではなかった

が、CDから流れてく

る音色に魅了された妻

が真っ先に購入した。

すると、団体旅行のメ

ンバーも次々に購入を

希望。CDがたりなく

なり、彼は自宅にとり

に帰り、私たちの観光

バスは次の名所を巡

り、再びドナウ川のた

もとに戻り、希望者は

全員CDを手に入れる

ことができました。

「二週間分の売上よ

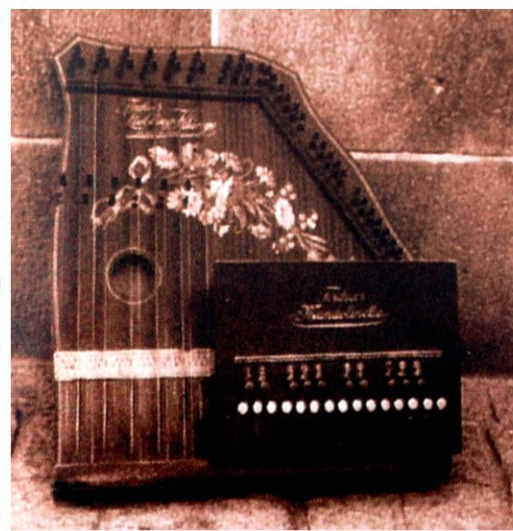
り多かったですよ」

貝から細工3セット

と夕陽のサンセットを

一緒にする。いかにも

今の日本人らしい。



チター

は、そこにしかない物

は「迷ったら買え!」。

シンプルな生活が良

いとは思いつつも、我

が家は珍品であふれて

いる。

フィリピンに行った

時、立ち寄ったみやげ

物店の主人が「SUN・

SET」「サン・セット」

と叫ぶ。「夕日が沈む

よ。先に見ておいで」

と言う。マニラ湾の夕

陽は有名なのだ。

しかし、日本人客は

「3セット!」と日本語

で聞いて色めく。いつの

間にか「3セットま

めて買うと安いのよ

という話になり、店の

主人は、「SUN・SE

T・DAWN」と言つて

両手をあげる。「夕陽

は沈んだ」のだ。日本

人客は、「3セット買

うなら、ダウンするぞ

うよ」と言い、先を競つ

て、貝細工を我先に買

い求めたのだ。これは

本当の話。トンマ?な

のは私だけではない。

貝から細工3セット

と夕陽のサンセットを

一緒にする。いかにも

今の日本人らしい。



フィリピンの土産「貝細工」